

試験方法の区分の名称	レディーミクストコンクリート試験
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[材料グループ]</b>
	JIS A 1101 コンクリートのスランブ試験方法
	JIS A 1116 フレッシュコンクリートの単位容積質量試験方法及び空気量の質量による試験方法(質量方法)
	JIS A 1128 フレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験方法—空気室圧力方法
	JIS A 5002 構造用軽量コンクリート骨材 5.14 g) フレッシュコンクリートの単位容積質量 [JIS A 1116 の試験方法を引用する]
JIS A 5308 レディーミクストコンクリート 10.3 スランブ [JIS A 1101 の試験方法を引用する] 10.5 空気量 [JIS A 1128 の試験方法を引用する]	
JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤 6.2.7 a) スランブ [JIS A 1101 の試験方法を引用する] 6.2.7 b) 空気量 [JIS A 1128 の試験方法を引用する] 6.2.7 i) 流動化剤を用いたコンクリートのスランブ及び空気量の経時変化量	

試験方法の区分の名称	骨材試験
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[材料グループ]</b>
	JIS A 1102 骨材のふるい分け試験方法
	JIS A 1103 骨材の微粒分量試験方法
	JIS A 1104 骨材の単位容積質量及び実積率試験方法
	JIS A 1105 細骨材の有機不純物試験方法
	JIS A 1109 細骨材の密度及び吸水率試験方法
	JIS A 1110 粗骨材の密度及び吸水率試験方法
	JIS A 1121 ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法
	JIS A 1122 硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験方法
	JIS A 1134 構造用軽量細骨材の密度及び吸水率試験方法
	JIS A 1135 構造用軽量粗骨材の密度及び吸水率試験方法
	JIS A 1137 骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法
	JIS A 1145 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法) [ただし、質量法にかぎる]
	JIS A 1146 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)
	JIS A 5002 構造用軽量コンクリート骨材 5.6 有機不純物 [JIS A 1105 の試験方法を引用する] 5.7 安定性 [JIS A 1122 の試験方法を引用する] 5.8 粘土塊量 [JIS A 1137 の試験方法を引用する] 5.9 微粒分量 [JIS A 1103 の試験方法を引用する] 5.10 粒度 [JIS A 1102 の試験方法を引用する] 5.11 絶乾密度 [JIS A 1134 及び JIS A 1135 の試験方法を引用する] 5.13 粗骨材の実積率 [JIS A 1104 の試験方法を引用する]
	JIS A 5005 コンクリート用砕石及び砕砂 6.2 絶乾密度及び吸水率試験 (JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する) 6.3 安定性試験 (JIS A 1122 の試験方法を引用する) 6.4 すりへり試験 (JIS A 1121 の試験方法を引用する) 6.5 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)

	<p>6.6 粒形判定実積率試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)</p> <p>6.7 微粒分量試験 (JIS A 1103 の試験方法を引用する)</p> <p>6.8 アルカリシリカ反応性試験 (JIS A 1145 及び JIS A 1146 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 5011-1 コンクリート用スラグ骨材-第1部:高炉スラグ骨材</p> <p>6.3 絶乾密度及び吸水率試験</p> <p>a) 高炉スラグ粗骨材 (JIS A 1110 の試験方法を引用する)</p> <p>b) 高炉スラグ細骨材 (JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)</p> <p>6.4 単位容積質量試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)</p> <p>6.5 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)</p> <p>6.6 微粒分量試験 (JIS A 1103 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 5011-2 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材</p> <p>6.2.2 絶乾密度及び吸水率試験 (JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)</p> <p>6.2.3 単位容積質量試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)</p> <p>6.3.1 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)</p> <p>6.3.2 微粒分量試験 (JIS A 1103 の試験方法を引用する)</p> <p>6.4 アルカリシリカ反応性試験 (JIS A 1146 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 5011-3 コンクリート用スラグ骨材-第3部:銅スラグ骨材</p> <p>6.2.2 絶乾密度及び吸水率試験 (JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)</p> <p>6.2.3 単位容積質量試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)</p> <p>6.3.1 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)</p> <p>6.3.2 微粒分量試験 (JIS A 1103 の試験方法を引用する)</p> <p>6.4 アルカリシリカ反応性試験 (JIS A 1145 及び JIS A 1146 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 5011-4 コンクリート用スラグ骨材-第4部:電気炉酸化スラグ骨材</p> <p>6.3 絶乾密度及び吸水率試験 (JIS A 1109 及び JIS A 1110 の試験方法を引用する)</p> <p>6.4 単位容積質量試験 (JIS A 1104 の試験方法を引用する)</p> <p>6.5 アルカリシリカ反応性試験 (JIS A 1145 及び JIS A 1146 の試験方法を引用する)</p> <p>6.6 粒度試験 (JIS A 1102 の試験方法を引用する)</p> <p>6.7 微粒分量試験 (JIS A 1103 の試験方法を引用する)</p> <p>JIS A 5308 レディーミクストコンクリート</p> <p>附属書A(規定)レディーミクストコンクリート用骨材</p> <p>A.10 試験方法の a), b), c), d), e), f), g), h), i), j), k), n), o)</p>
--	--

試験方法の区分の名称 製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>コンクリート・セメント等無機系材料強度試験</b>	
	<b>[材料グループ]</b>	
	JIS A 1108	コンクリートの圧縮強度試験方法 (ただし、附属書 A を除く)
	JIS A 5406	建築用コンクリートブロック
	JIS R 5201	セメントの物理試験方法
	JIS A 5002	構造用軽量コンクリート骨材
		5.14 f) コンクリートの圧縮強度試験 [JIS A 1108 の試験方法を引用する]

JIS A 5308	レディーミクストコンクリート 10. 2. 1 圧縮強度 (JIS A 1108 の試験方法を引用する) 附属書C (規定) の C. 8. 1. 8 モルタルの圧縮強さの比の試験 (ただし, A 法に限る) 附属書C (規定) の C. 8. 2. 5 モルタルの圧縮強さの比の試験 (ただし, A 法に限る) [JIS A 5308 附属書C の C. 8. 1. 8 及び JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する]
JIS A 6204	コンクリート用化学混和剤 6. 2. 7e) 圧縮強度 [JIS R 5201 11. の試験方法を引用する]
JIS R 5210	ポルトランドセメント 6. 1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ (圧縮強さ) [JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する]
JIS R 5211	高炉セメント 6. 1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ (圧縮強さ) [JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する]
JIS R 5212	シリカセメント 6. 1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ (圧縮強さ) [JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する]
JIS R 5213	フライアッシュセメント 6. 1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ (圧縮強さ) [JIS R 5201 の 11. の試験方法を引用する]

試験方法の区分の名称	コンクリート用化学混和剤試験
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[材料グループ]</b> JIS A 1123 コンクリートのブリーディング試験方法 JIS A 1147 コンクリートの凝結時間試験方法 JIS A 1148 コンクリートの凍結融解試験方法 (ただし, A 法に限る) JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤 附属書 A (規定) 化学混和剤中に含まれる塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量の試験方法 附属書 B (規定) 化学混和剤中に含まれるアルカリ量の試験方法
	JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤 6. 2. 7 c) ブリーディング量 [JIS A 1123 の試験方法を引用する] 6. 2. 7 d) 凝結時間 [JIS A 1147 の試験方法を引用する] 6. 2. 7 g) 凍結融解に対する抵抗性 [JIS A 1148 の試験方法を引用する] 6. 3 塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量 (JIS A 6204 附属書 A の試験方法を引用する) 6. 4 全アルカリ量 [JIS A 6204 附属書 B の試験方法を引用する]

試験方法の区分の名称	形状・寸法・質量・密度試験
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[材料グループ]</b> JIS A 1129-1 モルタル及びコンクリートの長さ変化測定方法—第 1 部: コンパレータ方法 JIS A 5406 建築用コンクリートブロック 9. 10 寸法測定
	JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤 6. 2. 7 f) 長さ変化 [JIS A 1129-1 の試験方法を引用する]
	<b>[構造グループ]</b> JIS A 5441 押出成形セメント板 (ECP) 7. 3 寸法の測定

JIS A 6511	空胴プレストレストコンクリートパネル 8.1 寸法測定試験
JIS A 6514	金属製折板屋根構成材 9.2 寸法の測定方法
JIS A 6517	建築用鋼製下地材 (壁・天井) 9.3 構成部材の形状安定性試験
JIS A 6519	体育館用鋼製床下地構成材 9.9 大引, 根太及び床パネルの形状安定性試験

試験方法の区分の名称	セメント・混和剤(材)試験
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[材料グループ]</b>
	JIS R 5201 セメントの物理試験方法 7. 密度試験 8.1 比表面積試験 9. 凝結試験 10. 安定性試験
	JIS R 5203 セメントの水和熱測定方法(溶解熱方法)
	JIS A 5308 レディーミクストコンクリート 附属書C(規定)レディーミクストコンクリートの練混ぜに用いる水のC.8.1.7(セメント凝結時間の差の試験 [JIS R 5201の9.の試験方法を引用する]) 附属書C(規定)レディーミクストコンクリートの練混ぜに用いる水のC.8.2.4(セメントの凝結時間の差の試験 [JIS A 5308 附属書CのC.8.1.7及びJIS R 5201の9.の試験方法を引用する])
	JIS R 5210 ポルトランドセメント 6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ(密度, 比表面積, 凝結, 安定性) [JIS R 5201 7., 8.1, 9. 及び 10. の試験方法を引用する] 6.3 水和熱 (JIS R 5203 の試験方法を引用する)
	JIS R 5211 高炉セメント 6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ(密度, 比表面積, 凝結, 安定性) [JIS R 5201 7., 8.1, 9. 及び 10. の試験方法を引用する] 6.3 水和熱 (JIS R 5203 の試験方法を引用する)
	JIS R 5212 シリカセメント 6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ(密度, 比表面積, 凝結, 安定性) [JIS R 5201 7., 8.1, 9. 及び 10. の試験方法を引用する]
	JIS R 5213 フライアッシュセメント 6.1 密度, 比表面積, 凝結, 安定性及び圧縮強さ(密度, 比表面積, 凝結, 安定性) [JIS R 5201 7., 8.1, 9. 及び 10. の試験方法を引用する]

試験方法の区分の名称	石灰・セメント・ガラス化学分析試験
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[材料グループ]</b>
	JIS A 5002 構造用軽量コンクリート骨材 5.5 塩化物

試験方法の区分の名称	吸音・遮音試験
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[環境グループ]</b>
	JIS A 1409 残響室法吸音率の測定方法
	JIS A 1416 実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法
	JIS A 4702 ドアセット 9.10 遮音性試験 (JIS A 1416 の試験方法を引用する)
	JIS A 4706 サッシ 9.8 遮音性試験 (JIS A 1416 の試験方法を引用する)

	JIS A 6301	吸音材料 7.2 吸音性能の試験 (JIS A 1409 の試験方法を引用する)
	JIS A 6504	建築用構成材(木質壁パネル) 7.3.2 遮音性 (JIS A 1416 の試験方法を引用する)
	JIS A 6512	可動間仕切 8.2 遮音性試験 (JIS A 1416 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	ボード類強度試験	
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	[構造グループ]	
	JIS A 5702	硬質塩化ビニル波板 8.4 衝撃試験
	JIS A 6711	複合金属サイディング 9.1 曲げ強さ試験 9.2 耐衝撃性試験
	JIS A 6504	建築用構成材(木質壁パネル) 7.3.6 衝撃強さ (JIS A 5702 8.4 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	材料断熱性試験	
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	[環境グループ]	
	JIS A 1412-1	熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法－第1部:保護熱板法 (GHP 法)
	JIS A 1412-2	熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法－第2部:熱流計法 (HFM 法)
	JIS A 1420	建築用構成材の断熱性測定方法－校正熱箱法及び保護熱箱法
	JIS A 5212	ガラスブロック (中空) 6.6 熱貫流試験 (JIS A 1420 の試験方法を引用する) 軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル)
	JIS A 5416	9.7 ALCパネルの断熱性能試験 [JIS A 1420 附属書B (規定) の試験方法を引用する]
	JIS A 5905	繊維板 7.19 断熱性試験 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
	JIS A 5908	パーティクルボード 7.22 断熱性試験 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
	JIS A 6301	吸音材料 7.3.4 i) 熱伝導率 (JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
	JIS A 6901	せっこうボード製品 7.12 熱抵抗試験 (JIS A 1412-2 又は JIS A 1420 の試験方法を引用する)
	JIS A 9504	人造鉱物繊維保温材 6.4 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
	JIS A 9510	無機多孔質保温材 6.10 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
	JIS A 9511	発泡プラスチック保温材 6.7 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)

	JIS A 9521	建築用断熱材 6.7 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する) 6.16 熱抵抗 (JIS A 1420 の試験方法を引用する)
	JIS A 9523	吹込み用繊維質断熱材 6.3 熱伝導率 (JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)
	JIS A 9526	建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム 6.2.6 熱伝導率 (JIS A 1412-1 又は JIS A 1412-2 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	気密・水密・耐風圧試験	
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[環境グループ]</b>	
	JIS A 1414-3	建築用パネルの性能試験方法-第3部：温湿度・水分に対する試験 5.7 水密性試験
	JIS A 1515	建具の耐風圧性試験方法
	JIS A 1516	建具の気密性試験方法
	JIS A 1517	建具の水密性試験方法
	JIS A 4702	ドアセット 9.7 耐風圧性試験 (JIS A 1515 の試験方法を引用する) 9.8 気密性試験 (JIS A 1516 の試験方法を引用する) 9.9 水密性試験 (JIS A 1517 の試験方法を引用する)
	JIS A 4706	サッシ 9.4 耐風圧性試験 (JIS A 1515 の試験方法を引用する) 9.5 気密性試験 (JIS A 1516 の試験方法を引用する) 9.6 水密性試験 (JIS A 1517 の試験方法を引用する)
	JIS A 4713	住宅用雨戸 9.1 a) 耐風圧性試験 (JIS A 1515 の試験方法を引用する)
	JIS A 6504	建築用構成材(木質壁パネル) 7.3.3 防水性 (JIS A 1414-3 5.7 の試験方法を引用する)
	JIS A 6509	建築用構成材(木質屋根パネル) 7.3.3 防水性 (JIS A 1414-3 5.7 の試験方法を引用する)
	JIS A 6711	複合金属サイディング 9.3 水密性試験 (JIS A 1414-3 5.7 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	建築構成部材断熱性試験	
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[環境グループ]</b>	
	JIS A 4710	建具の断熱性試験方法
	JIS A 4702	ドアセット 9.11 断熱性の試験及び計算 (JIS A 4710 の試験方法を引用する)
	JIS A 4706	サッシ 9.9 断熱性の試験及び計算 (JIS A 4710 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	建築構成部材曲げ・圧縮・面内せん断試験	
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[構造グループ]</b>	
	JIS A 1414-2	建築用パネルの性能試験方法-第2部：力学特性に関する試験 5.1 面内圧縮試験 5.3 曲げ試験 5.5 面内せん断試験

JIS A 5409	鉄筋コンクリート組立塀構成材 6.2 曲げ試験
JIS A 5416	軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル) 9.5 ALCパネルの曲げ強さ試験
JIS A 6511	空洞プレストレストコンクリートパネル 8.2 曲げひび割れモーメント及び曲げ破壊モーメント試験
JIS A 6514	金属製折板屋根構成材 9.3 折板の曲げ耐力試験 9.4(2)(b) 圧縮試験
JIS A 5363	プレキャストコンクリート製品—性能試験方法通則
JIS A 5371	プレキャスト無筋コンクリート製品 8.2 性能試験 (JIS A 5363 の試験方法を引用する)
JIS A 5372	プレキャスト鉄筋コンクリート製品 9.2 性能試験 (JIS A 5363 の試験方法を引用する)
JIS A 5441	押出成形セメント板 (ECP) 7.5 曲げ強度試験 (JIS A 1414-2 5.3 の試験方法を引用する)
JIS A 6504	建築用構成材(木質壁パネル) 7.3.4 面内せん断強さ (JIS A 1414-2 5.5 の試験方法を引用する) 7.3.5 軸方向圧縮強さ (JIS A 1414-2 5.1 の試験方法を引用する) 7.3.7 分布圧強さ (JIS A 1414-2 5.3 の試験方法を引用する)
JIS A 6506	建築用構成材(木質床 <sup>パ</sup> ネル) 7.3.4 耐分布圧性 (JIS A 1414-2 5.3 の試験方法を引用する)
JIS A 6509	建築用構成材(木質屋根 <sup>パ</sup> ネル) 7.3.4 耐分布圧性 (JIS A 1414-2 5.3 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	ホルムアルデヒド放散性試験 (デシケータ法)
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[材料グループ]</b>
	JIS A 1460 建築用ボード類のホルムアルデヒド放散量の試験方法 — デシケータ法
	JIS A 6921 壁紙 6.3.6 ホルムアルデヒドの放散量試験
	JIS A 6922 壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤 6.4 ホルムアルデヒドの放散量試験
	JIS A 5905 繊維板 7.18 ホルムアルデヒド放散量試験 (JIS A 1460 の試験方法を引用する)
	JIS A 5908 パーティクルボード 7.14 ホルムアルデヒド放散量試験 (JIS A 1460 の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	機械的耐久性試験
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[環境グループ]</b>
	JIS A 1519 建具の開閉力試験方法
	JIS A 4702 ドアセット 9.4 開閉力試験 (JIS A 1519 の 6.4 a) 及び 6.4 c) の試験方法を引用する)
	JIS A 4706 サッシ 9.2 開閉力試験 (JIS A 1519 の 6.4 a) 及び 6.4 c) の試験方法を引用する)
	<b>[材料グループ]</b>
	JIS A 1519 建具の開閉力試験方法 JIS A 1530 建具の開閉繰返し試験方法
JIS A 4702 ドアセット 9.5 開閉繰返し試験 (JIS A 1530 の試験方法を引用する)	

	JIS A 4706	サッシ 9.3 開閉繰返し試験 (JIS A 1530 の試験方法を引用する)
--	------------	--

試験方法の区分の名称	金属系材料・部品等強度試験	
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[構造グループ]</b>	
	JIS A 1521	片開きドアセットの面内変形追随性試験方法
	JIS A 1523	ドアセットのねじり強さ試験方法
	JIS A 1524	ドアセットの鉛直載荷試験方法
	JIS A 4704	軽量シャッター構成部材 11.1 構成部材の曲げ試験 11.1.1 スラットの曲げ試験 11.1.2 中柱の曲げ試験 11.1.3 上げ落としの曲げ試験
	JIS A 6514	金属製折板屋根構成材 9.4(2)(a) 引張試験
	JIS A 6517	建築用鋼製下地材 (壁・天井) 9.4.1 載荷強さ試験 9.5.1 下向き載荷試験 9.5.2 上向き載荷試験
	JIS A 6519	体育館用鋼製床下地構成材 9.2 鉛直載荷試験 9.2.1 一般体育館, 剣道場及び柔剣道場 9.2 鉛直載荷試験 9.2.2 柔道場
	JIS A 6601	低層住宅用バルコニー構成材及び手すり構成材 10.2.3 床 (根太) の鉛直荷重試験 10.2.4 開口側の手すりかさ (笠) 木の鉛直荷重試験 10.2.5 開口側の手すりかさ (笠) 木の水平荷重試験 10.2.6 床の鉛直等分布荷重試験 10.3.2 手すりかさ (笠) 木の鉛直荷重試験 10.3.3 手すりかさ (笠) 木の水平荷重試験
	JIS A 4702	ドアセット 9.1 ねじり強さ試験 (JIS A 1523 の試験方法を引用する) 9.2 鉛直荷重強さ試験 (JIS A 1524 の試験方法を引用する) 9.11 面内変形追随性試験 (JIS A 1521 の試験方法を引用する)
	<b>[環境グループ]</b>	
JIS A 1522	建具の戸先かまち強さ試験方法	
JIS A 4706	サッシ 9.7 戸先かまち強さ試験 (JIS A 1522 の試験方法を引用する)	

試験方法の区分の名称	化学物質放散性試験	
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	<b>[材料グループ]</b>	
	JIS A 1901	建築材料の揮発性有機化合物 (VOC), ホルムアルデヒド及び他のカルボニル化合物放散測定方法—小形チャンバー法 (但し、対象化学物質はホルムアルデヒドに限る。)
	JIS A 5536	床仕上げ材用接着剤 6.3.8 ホルムアルデヒド放散試験 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)
JIS A 5537	木れんが用接着剤 5.8 ホルムアルデヒド放散試験 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)	



JIS A 5538	壁・天井ボード用接着剤 5.8 ホルムアルデヒド放散試験 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)
JIS A 5547	発泡プラスチック保温板用接着剤 5.10 ホルムアルデヒド放散試験 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)
JIS A 9504	人造鉱物繊維保温材 6.8 ホルムアルデヒド放散特性 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)
JIS A 9511	発泡プラスチック保温材 6.15 ホルムアルデヒド放散特性 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)
JIS A 9521	建築用断熱材 6.6 ホルムアルデヒド放散特性 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)
JIS A 9523	吹込み用繊維質断熱材 6.4 ホルムアルデヒド放散特性 (JIS A 1901 の試験方法を引用する)

<b>試験方法の区分の名称</b>	<b>湿式重量・減量・残分・灰分試験</b>
<b>製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号</b>	<b>[材料グループ]</b> JIS A 5308 JIS A 5308 レディーミクストコンクリート 附属書C (規定) のC.8.1.4 懸濁物質の量の試験 附属書C (規定) のC.8.1.5 溶解性蒸発残留物の量の試験

<b>試験方法の区分の名称</b>	<b>イオンクロマトグラフ分析</b>
<b>製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号</b>	<b>[材料グループ]</b> JIS K 0127 イオンクロマトグラフ分析通則 ----- JIS A 1144 フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法 4. d) (JIS K 0127 の試験方法を引用する) JIS A 5308 レディーミクストコンクリート 附属書A (規定) レディーミクストコンクリート用骨材 A.10 試験方法の p) 塩化物量 [JIS A 5002 の 5.5 及び JIS A 1144 の 4. d) の試験方法を引用する] 附属書C (規定) のC.8.1.6 塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量の試験 (JIS A 1144 の 4. d) 及び JIS K 0127 の試験方法を引用する) 附属書C (規定) のC.8.2.3 塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量の試験 (JIS A 1144 の 4. d) 及び JIS K 0127 の試験方法を引用する)

<b>試験方法の区分の名称</b>	<b>ガラス透過・反射・日射熱特性試験</b>
<b>製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号</b>	<b>[環境グループ]</b> JIS R 3106 板ガラスの透過率・反射率・放射率の試験方法及び建築用板ガラスの日射熱取得率の算定方法 5. 分光透過率及び分光反射率の測定 8. 日射透過率, 日射反射率及び日射吸収率の算定 9. 日射熱取得率 JIS R 3212 自動車用安全ガラス試験方法 5.11 可視光線透過率試験

	JIS R 3213	鉄道車両用安全ガラス 6.3.1 可視光線透過率試験
	JIS R 3220	鏡材 8.1 反射率
	JIS R 3221	熱線反射ガラス 7.3.2 日射熱遮へい性試験
	JIS R 3206	強化ガラス 8.8 熱線反射強化ガラスの試験 (JIS R 3221 の 7.3.2 の試験方法を引用する)
	JIS R 3208	熱線吸収板ガラス 6.1 5mm 日射熱取得率 (JIS R 3106 の 5.3.2 a) , 5.3.2 b) , 8. 及び 9. の試験方法を引用する)
	JIS R 3209	複層ガラス 7.7 光学薄膜の性能の加速耐久性試験 (JIS R 3106 5. の試験方法を引用する)

試験方法の区分の名称	ガラス耐久性試験	
製品試験に係る日本産業規格の番号、項目番号及び記号	[環境グループ]	
	JIS R 3205	合わせガラス 7.3 耐光性試験 7.4 耐熱性試験
	JIS R 3209	複層ガラス 7.4 乾燥気体の露点試験 7.6 封止の加速耐久性試験
	JIS R 3212	自動車用安全ガラス試験方法 5.10 耐湿性試験
	JIS R 3221	熱線反射ガラス 7.3.3 耐光性試験
	JIS R 3205	合わせガラス 7.5 耐湿性試験 (JIS R 3212 の 5.10 の試験方法を引用する)
	JIS R 3206	強化ガラス 8.8 熱線反射強化ガラスの試験 (JIS R 3221 の 7.3.3 の試験方法を引用する)